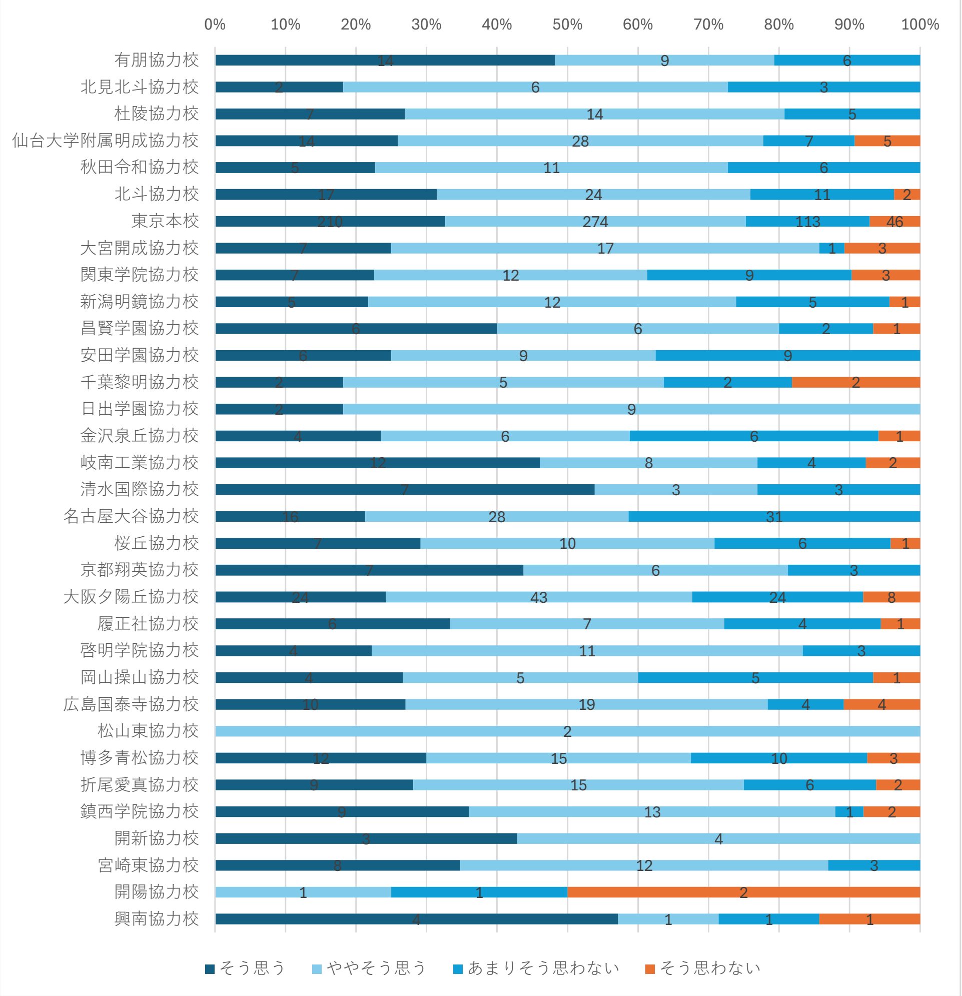
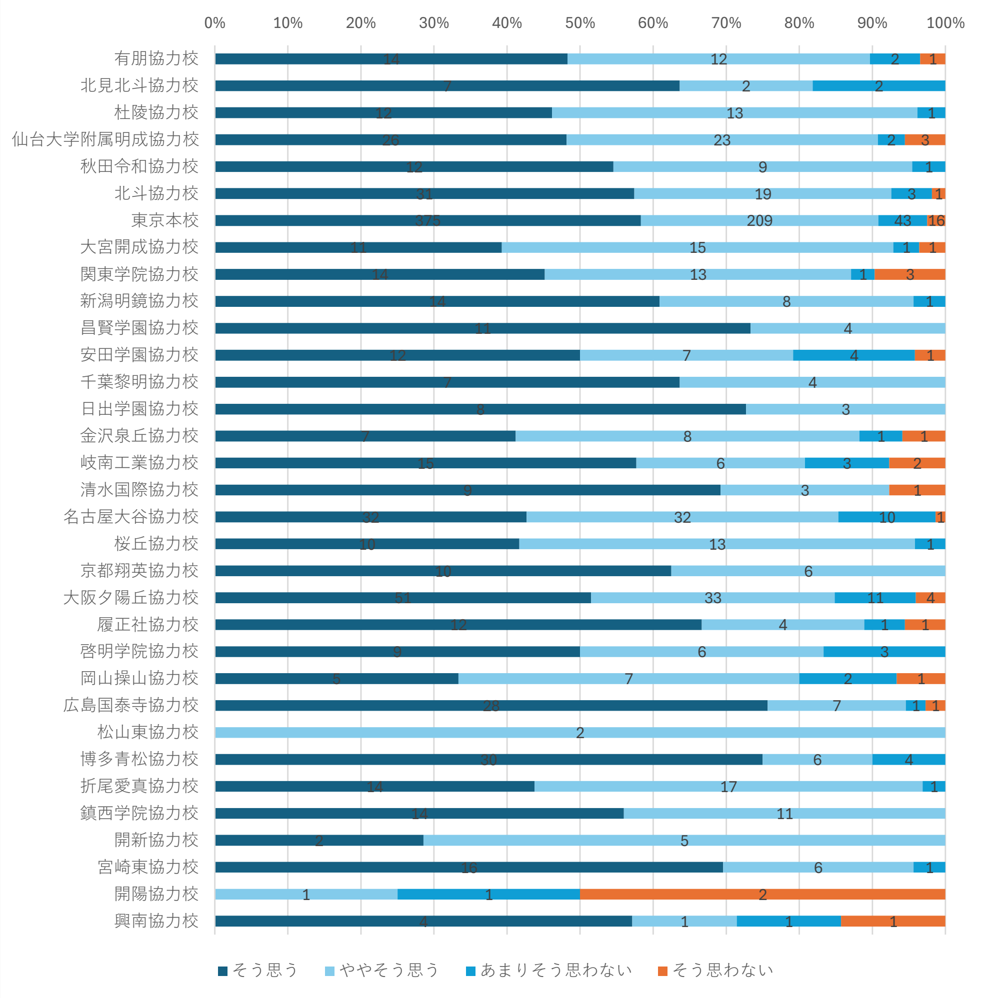
2023年度 スクーリング会場別評価

NHK学園高等学校のスクールミッションや事業計画、昨年度の学校評価で明らかになった項目を踏まえて、生徒、保護者、教員を対象に2023年10月20日から12月10日までインターネットでアンケートを実施しました。
このうちスクーリング会場別に確認すべき主な項目について結果をまとめました。昨年度の結果から見えた課題に対する今年度の取り組み、今回の学校評価を踏まえた次年度への課題と改善方策についてもまとめましたのでご覧ください。

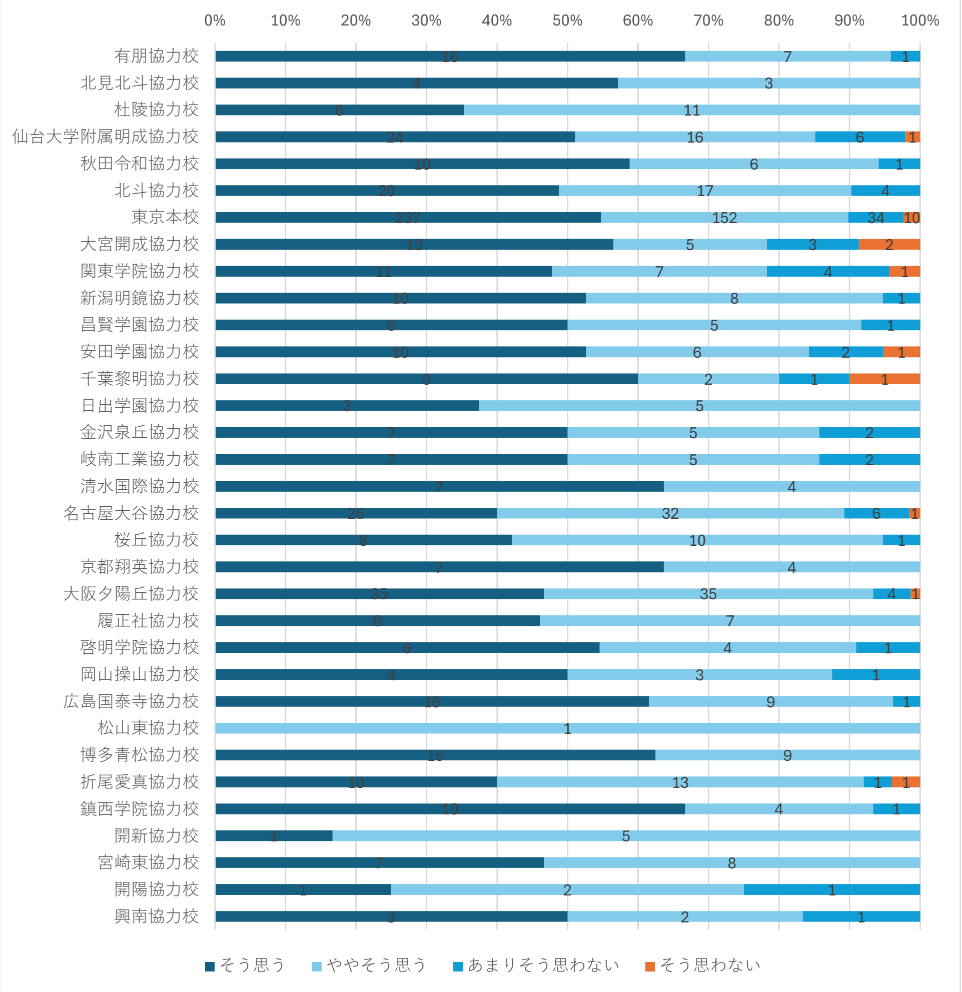
課題	具体的な取り組み	次年度への課題と改善方策
・「通信教育実施計画」に、より具体的な指導内容、指導展開を記述するとともに、スクーリング（面接指導）の項目の統一化を図り、全国における指導の標準化を進める。 ・東京本校と協力校との間で、レポート、教材、各種情報をネット上でより円滑に共有できるよう、協力校の設備、通信環境を整える。 ・学習指導、進路指導、教育相談、様々な行事のオンライン化や全国配信をさらに充実させる。	・「通信教育実施計画」のスクーリングの内容をより具体性のあるものに整えるとともに、観点別学習評価に向けて各観点の評価方法を記載し、スクーリング時の指導内容、学習活動の一層の標準化を図った。 ・年度前半に、地区ごとに各協力校の運営責任者を集めた会議を実施し、学習指導をはじめ年度内の施策等を共有した。 ・各協力校の運営責任者に、これまでの業務用スマートフォンに加え、指導用PC、学習用PC、可搬型WiFiを貸与するとともに、情報共有サイト用のアカウント、メールアドレスを貸与し、東京本校と協力校間での各種情報の共有を図った。 ・ネット学習システム（NOS）の学習サイト上に、生徒が必要とする情報をアップし、情報発信の一元化を図った。また、科目指導を中心にオンラインサポート動画の充実を図るとともに、全国の生徒が参加するオンラインでの特別活動を実施したり、スクールカウンセラー（SC）による講座や予備校講師による受験対策講演会を全国配信するなど、オンライン配信を充実させた。 ・拠点協力校のSCとスクールソーシャルワーカーを本校に呼び協働会議を開催し、課題を共有するとともに、通信制高等学校における生徒支援の方向性と、全国６か所にある「まなびや」を拠点に、SC、担任、各協力校の運営責任者などが一体となって生徒支援にあたる「チーム学校」体制について共通認識を図った。	・「通信教育実施計画」に基づくスクーリングの実施がより定着するよう、引き続き、本校と協力校間で指導内容や指導方法、教材等の共有を進めていく。そのために、全国のスクーリング講師向けにも新NOSのアカウントを発行し、システム利用の周知、資料共有、活用を広める。 ・各協力校の運営責任者が、貸与された機器を適正かつ有効に活用できるよう、より具体性を重視した利用マニュアルの作成、的確な問い合わせ対応を可能にする体制づくりを進める。 ・学習指導、進路指導、教育相談、各種行事のオンラインコンテンツの充実と、生徒、保護者の利用促進を図る。 ・公的サービスを含め必要なサービスを生徒・保護者が受けられるよう、NOSでの情報発信を強化するとともに、協力校の教員からも生徒・保護者に対しサービスに関する情報提供と利用促進を図る。



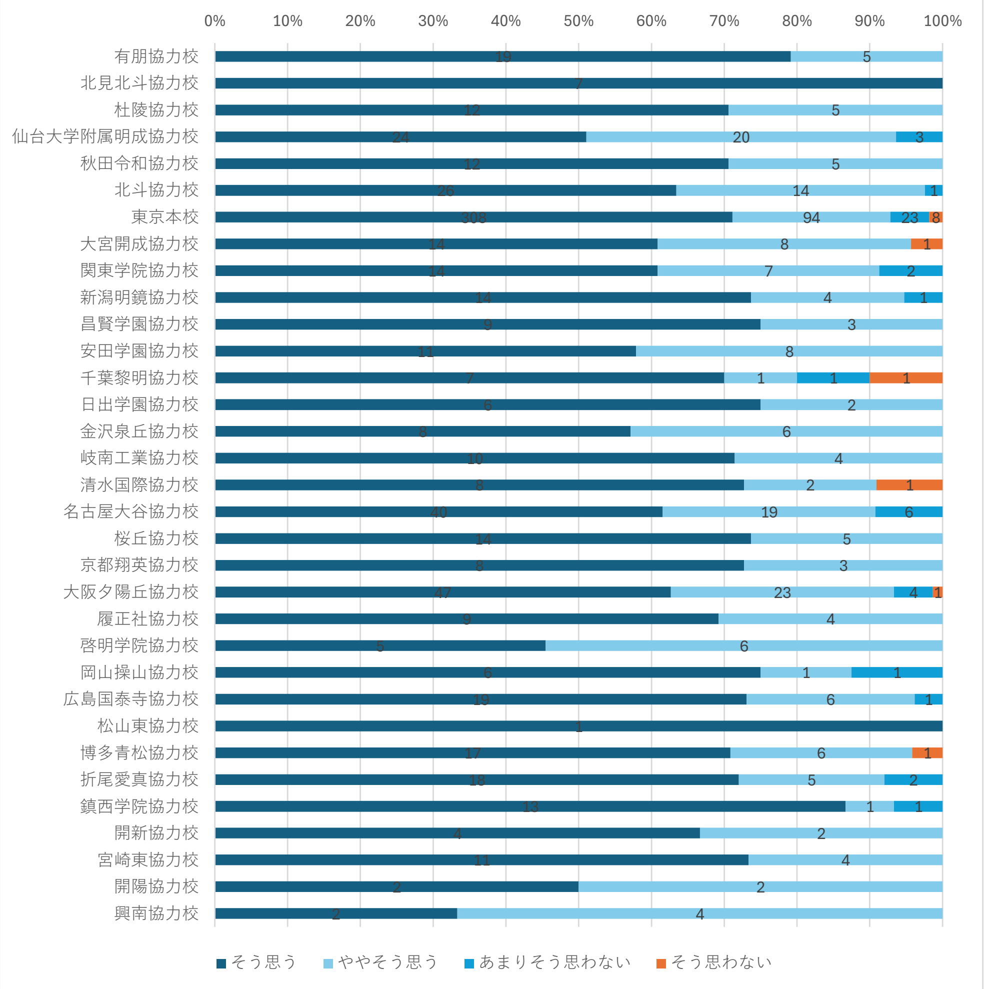
スクーリングでは自宅学習における疑問や不安が解消できる



スクーリング会場の学習環境に満足している



NHK学園は自分にとって安心できる学びの場である



NHK学園高等学校に入学して良かった